

3月決算総特集

- I 見積り、減損処理など
コロナ禍の影響を踏まえた会計処理ポイント
 - II 好事例集とASBJ議事概要を参考に
コロナ禍の影響を踏まえた開示ポイント
 - III 関連府省令・監査基準等の改正にも注意
見積り開示会計基準の対応上の留意点
 - IV 未適用の会計基準等の注記に注意
会計方針開示等会計基準の対応上の留意点
 - V スtock・オプション会計基準も要確認
取締役報酬としての株式無償交付の会計上のポイント
 - VI 未適用会計基準の注記を忘れずに
収益認識基準における開示上の留意点
 - VII レベル3の時価の注記は要チェック
時価算定会計基準の早期適用に伴うポイント
 - VIII グループ通算制度、新型コロナ税特法など
税効果会計に係る今期特有の留意事項
 - IX 金利指標置換前後の会計処理、注記など
LIBOR参照の金融商品に関するヘッジ会計の留意点
 - X 重要な後発事象として注記する場合も
改正会社法に係る計算書類の留意事項
 - XI KAMの記載、「その他の記載内容」など
監査基準の改訂等に伴う監査報告書の変更ポイント
 - XII MD&A、コロナ禍の影響など
記述情報の充実に係る開示上の留意点
 - XIII 棚卸立会、帳票の電子化対応など
リモートワークにおける決算業務の留意事項
- 恒例企画** 2021年3月決算関連資料一覧

今3月期決算は、コロナ禍の影響を通年にわたって受けた初めての本決算であるとともに、見積り開示会計基準や会計方針開示等会計基準、KAM導入の強制適用が始まる。また、3月1日施行の令和元年改正会社法の計算書類への影響等にも留意が必要である。本特集では、これらの今3月決算における実務上の留意点を網羅的に解説してもらった。巻末の決算関連資料一覧とあわせてご活用いただければ幸いである。